

大会宣言

農業を取り巻く環境はかつてないほど急速に変化している。TPPや水田農業政策などでは、現場の声を十分に聞かないままに制度・政策の大転換がなされようとしている。さらに各方面から農業に関する発言が喧々となされ、今後さらなる経営発展をめざす我々若手農業者の不安は尽きない。

こうした中、JA青年組織に結集する我々の果たす役割は、より大きく重要なものとなっている。特に、自ら課題を洗い出し解決策を実践・提案していくポリシーブックの取り組みをさらに発展させることで、国会議員や農林水産省をはじめ関係各所との連携を強め、若手農業者目線の農業政策そしてJAグループの事業を主体的に創り上げなければならない。さらに、ポリシーブックの取り組みを通じて、盟友一人ひとりのスキルアップと組織活動の強化を図り、広く消費者と生産者の絆を創り出すことで、未来につなぐべき『食』と『農』の価値を着実に発信し続けていく必要がある。

本年、JA全青協は創立60周年を迎える。次代を担う若手農業者としての役割を果たすために、今、あらためてJA青年組織綱領の精神に立ち返り、地域のリーダーとして日本農業と地域社会を率いていく責務を自覚するものである。さらに、国民に対して責任ある生産者として、将来を見据えた経営感覚・地域マネジメント力を磨き、多くの仲間と連帯・切磋琢磨することで、思いを発展深化させる。そして、伝統ある組織の節目に相応しい活動を全盟友の結集のもとに前進させ明日を創る。

以上、宣言する。

平成26年2月13日
第60回JA全国青年大会

※この大会宣言は約1,500名の青年農業者が全国各地から日比谷公会堂に結集して行われた「第60回JA全国青年大会」（平成26年2月12、13日）にて決議されました。